

平成30年度 都城市立菓子野小学校 関係者評価書(学校運営協議会の評価)

※4段階評価(4:期待以上 3:ほぼ期待通り 2:やや期待を下回る 1:改善を要する)

評価項目	評価指標等	方策・手立て	評定	学校運営協議会のコメント
1 基礎学力の向上	① 基礎的・基本的学習内容の確実な定着	○ 学業指導の徹底 ○ 授業改善、指導法の改善 ○ 主題研究を通じた共通理解・共通実践 ○ スキルタイムの充実 (Web学習単元評価等の完全実施・国語科スキル実施) ○ 個に応じた指導の充実	3	○ 重点支援S訪問(年3回)を受け、教職員一人一人が学級の実態に応じた授業づくりへの意欲が高まってよかった。 ○ 各学年、児童の学力には個人差があると思われるので、全学級で基本的な学習訓練の定着を強化し、落ち着いた学習環境づくりに努めてほしい。(低学年からの指導の徹底) ○ 児童は、週1回の読み聞かせ、昼休み時間の図書室利用、学級文庫、くれよん号来校等読書への関心はある。読書量や内容については個人差があるようで、家読の啓発に努めてほしい。 ○ 学校と家庭が連携し、家庭における学習習慣の確立を今後とも目指していくべきである。(家庭学習の定着とあわせて、ノーメディア週間の実施におけるゲーム等へのルール決め)
	② 読書活動の推進	○ 図書館教育の充実 (図書館サポーターとの活用) ○ 読書活用の工夫と意欲付け ○ ひまわりグループとの連携		
	③ 家庭学習の充実	○ 家庭と連携した家庭学習の習慣化 ○ 各家庭での家読の実施 ○ ノーメディアデーの推進		
2 豊かな心の育成	① 道徳教育の充実	○ 思いやりの心の醸成 ○ 「特別な教科 道徳」の実践 ○ 環境美化の推進 ○ 花栽培による心の育成	3	○ 庄内地区青少年育成協議会主催の「子どもの声を聞く会」での本校児童の発表はすばらしかった。祖父母を敬う気持ち、平和への使命感等に感動した。 ○ 朝の登校班でのあいさつも元気が増し、上級生が下級生にやさしく接している姿を見て、心豊かな児童が育てられていると感じる。 ○ オープンスクールでの、6年生の授業態度が好印象で、交流給食も楽しかった。6年生がしっかりと学校をリードしている。 ○ 学校における児童の様子や実態をしっかりと把握して、学校・保護者・地域(学校運営協議委員)の三位一体となった連携を強化し、よりよい学校づくりを目指したい。 ○ 基本的な生活習慣の定着を、幼保小中が連携して目指し、家庭の教育力をアップする必要がある。
	② 基本的な生活習慣の徹底	○ 規範意識の高揚 ○ 「菓子野っ子よい子の1日」の徹底 ○ 気持ちよいあいさつや正しい言葉遣い ○ 無言移動、無言清掃		
	③ 人権教育の充実	○ お互いを認め合う心の育成 ○ 自己肯定感の高揚 ○ 指導法の工夫・改善		
3 健康安全教育の推進	① 体力向上プランの確実な実施	○ 運動に取り組む環境整備 ○ 体力テストの結果	3	○ 持久走やなわとび旬間の練習により、児童の運動への関心が高まるとともに体力が少しずつ向上している。また、体力テストを分析し、体育学習で運動量を十分に確保することが大切である。 ○ 「早寝・早起き・朝ごはん」の基本的な生活リズムの定着について、児童・保護者・教職員の意識の差がある。「早寝・早起き・朝ごはん」の生活リズムが身に付くために、学校が保護者と連携して啓発に努めなくてはならない。 ○ ゲームやスマホ等のルールを決める等を学校・家庭が連携・啓発し、各家庭で児童の睡眠時間をしっかりと確保できるようにしなくてはならない。 ○ 夏休み、冬休みを利用した「弁当づくり」を各家庭、ほぼ全員の児童が保護者と一緒に取り組んでいたのを継続してほしい。
	② 健康安全教育の充実	○ 「早寝・早起き・朝ごはん」の習慣化 ○ 立腰指導の徹底 ○ 防災体制整備による安全確保 ○ 緊急時等の連絡体制整備		
	③ 食に関する指導の推進	○ 「子どもがつくる弁当の日」の実践 ○ 栄養指導の充実		
4 ふるさと学習推進	① 地域の教育資源の積極的な活用	○ 地域と関連させた総合的な学習の時間「きらめきタイム」の充実 ○ 伝統芸能の継承	4	○ 1・2年が生活科、3年以上が総合的な学習の時間を利用して、地域素材・人材を活用した授業を展開しているようだ。学級以外の場所で活動すると児童は生き生きと活動できる。 ○ 朝の見守り隊で、児童とあいさつを交わしたり、学校での話をしたりして、お互いに元気をもたらしているように感じる。 ○ 各地区でPTA活動がさかに行われ、児童の参加率も上がって楽しく活動してうれしい。 ○ 学校支援ボランティアが児童の活動に関わることができ、教育活動が充実していると感じる。
	② 地域や各関係機関と連携した体験活動の実施	○ 学校支援ボランティア組織の活用 ○ 各関係機関と連携した体験活動 ○ 地域行事への積極的参加		
5 信頼される学校づくり	① 教職員の資質向上	○ コンプライアンスの遵守	4	○ 毎月学校便り「菓子野っ子」を発行していただき、学校での児童の様子や行事等を知ることができとてもよかった。 ○ 生命の尊さや食育の大切さ等を学校や家庭、地域等のあらゆる活動において伝えていく必要がある。 ○ 本年は、学校ホームページを適時更新していただき、情報発信に感謝している。 ○ 幼保小と連携をして、児童の様子を小学校入学前に把握する必要がある。学校・家庭・地域で児童の健やかな成長を願い、協力体制を強化していかなくてはならない。 ○ 今後とも、庄内地区小中一貫教育の推進に尽力してほしい。
	② 家庭・地域との連携・協働	○ 家庭・地域との密な連携 ○ 地域と連携した防災 ○ 学校運営協議会の充実		
	③ 教育活動の外部発信とPCネットワークの活用	○ 学校だよりの発行 ○ ホームページの充実		
	④ 一貫教育の充実	○ 庄内地区小中一貫教育、幼保小連携の推進		

総合所見

○ 5つの中で、特に基礎学力の向上と豊かな心の育成の推進を学校・家庭・地域がしっかりと連携・協働して強化してほしい。次年度は、PTA組織体制が2年目になるので、さらに全保護者の学校に対しての理解と協力が増して学校と保護者、地域の信頼関係を高めていってほしい。また、地域の人的物的資源をもっと活用し、児童が菓子野校区や庄内地区への愛情と誇りをもって心豊かにたくましく育ててほしい。